

# 歌川 広重

生誕200年記念  
● 広重の風景画展



**1997年5月16日(金)～8月3日(日)**

PART 1 5月16日(金)～6月8日(日) 東都・江戸名所シリーズ  
PART 2 6月10日(火)～7月6日(日) 東海道五十三次之内  
PART 3 7月8日(火)～8月3日(日) 名所江戸百景

■開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)  
■休館日 毎週月曜日  
■観覧料 一般500円・学生350円  
団体(20名以上): 一般400円・学生250円

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館 読売新聞西部本社 **KRY**山口放送

同時開催 東洋陶磁平常展「中国の陶俑」5月16日(金)～8月3日(日)



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758 山口県萩市平安西586-1 TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401



# 歌川 広重

歌川広重の生誕200年を記念して、本館の収蔵品の中から広重の風景画の揃物を三期に分けて紹介します。  
広重は幕末期に活躍した葛飾北斎と並び称される風景画の名手です。名所絵に新機軸を打ち出した初期の東都名所シリーズから、出世作となった東海道五十三次之内、さらに晩年の大作である名所江戸百景、計173点を展示します。

## ● PART 1 東都・江戸名所シリーズ

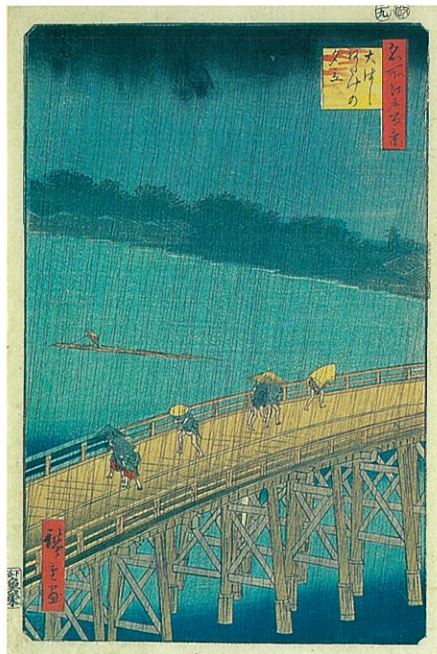
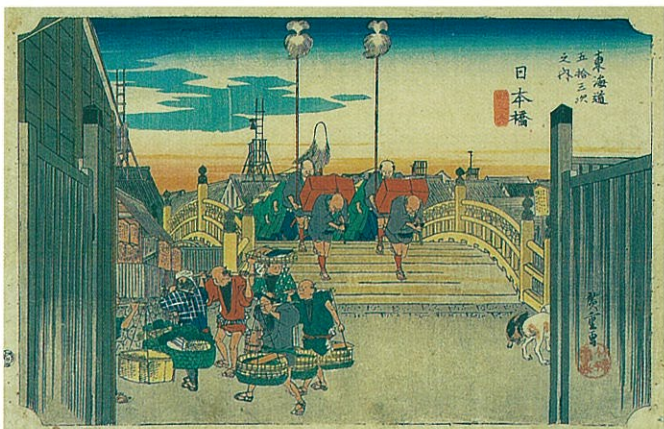
広重の最初の大判錦絵の名所シリーズとなった川口正蔵版「東都名所」。それまで携わってきた人物画から、風景画へと転向した最初の大判錦絵です。新鮮な感覚で描いた名所絵が認められ、広重は名所絵の名手として、数多くの江戸の名所絵を描くことになります。

## ● PART 2 東海道五十三次之内

江戸日本橋から京都三条大橋までの東海道を描いた全55枚の揃物です。版元は竹内孫八・鶴屋喜右衛門で、最も有名な保永堂版です。広重の出世作であると同時に代表作でもあるこのシリーズは人気を得て、広重の風景画家としての名を高めました。広重は風土や季節の中の人々の営み、東海道を行き来する旅人たちの巧みに描きだし、旅情をかき立てる抒情豊かなシリーズとなっています。

## ● PART 3 名所江戸百景

広重の晩年の大作で、二世歌川広重の作品と目次を加えた堅大判120枚の大揃物です。安政3年～5年にかけて制作された江戸の名所の集大成的シリーズで、江戸の神社・仏閣、桜の名所や、芝居町など様々な場所が季節の風物とともに描かれています。



1. 東都名所 佃嶋初郭公  
天保2年(1831)頃
2. 東海道五十三次之内 日本橋 朝之景  
天保4～5年(1833～1834)
3. 東海道五十三次之内 庄野 白雨  
天保4～5年(1833～1834)
4. 名所江戸百景 亀戸天神境内  
安政3年(1856)
5. 名所江戸百景 大はしあたけの夕立  
安政4年(1857)

次回予告  
毛利元就展  
—その時代と至宝—  
8月8日～9月15日

- 交通アクセス
- JR東萩駅：タクシー5分／徒歩20分
  - JR小郡駅：バス70分  
(萩バスセンター下車、徒歩10分)
  - 岩見空港(島根県益田市)：バス75分  
(萩バスセンター終点、徒歩10分)
  - 中国自動車道：小郡I.C.、各50分  
美祿I.C.

お問い合わせは  
山口県立萩美術館・浦上記念館  
〒758 山口県萩市平安古 586-1  
TEL 0838-24-2400

